

知的障害者の公共交通機関の 利用実態と課題

～地域への架け橋に～

社会福祉法人 東京都知的障害者育成会
永田直子

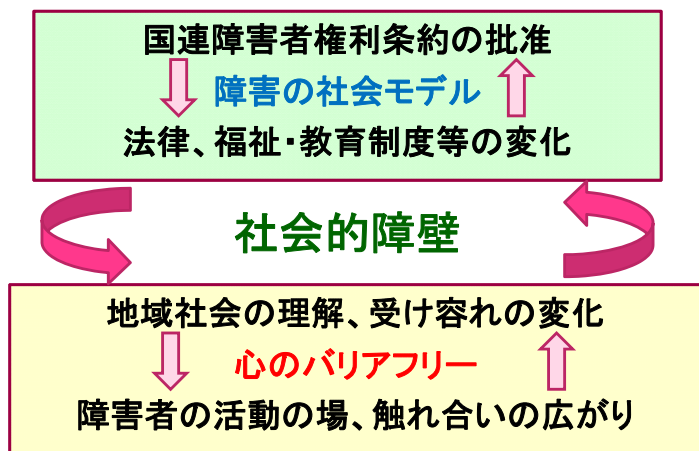
平成27年7月23日

* 内容 *

1. はじめに ～共生社会をめざして～
2. 知的障害とは
* 発達障害 *
3. 知的障害のある人の特性
4. 交通機関での困りごと
5. 知的障害者への対応(お願い)
* 交通機関の皆様へのお願い *
6. まとめ ～地域への架け橋に～

2

1. はじめに ～共生社会をめざして～



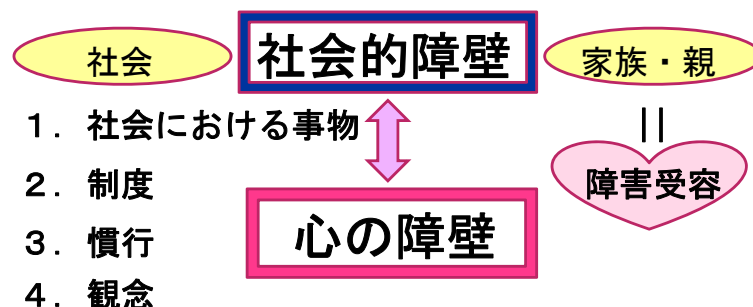
誰にでも暮らしやすい地域＝出かけたくなるまち

3

1. はじめに ～共生社会をめざして～

障害者差別解消法

- ① 不当な差別的取り扱い
- ② 合理的配慮の不提供・・・「社会的障壁の除去」



* 知的障害者への配慮の基本は・・・

「無理解、偏見を持たずに接するということ」

4

2. 知的障害とは

(1) 判断のための定義

- ① 知的能力(IQ)が70未満で低い (標準は100)
 - ② 発達期(18歳未満)に発症している
 - ③ 社会生活に適応できる能力が同年齢の人に比べて低い
- (* 治療では治らないが、環境を整え、経験を重ねることにより、社会生活能力は向上する)
例)、ダウン症・自閉症

5

2. 知的障害とは

(2) 原因

- 【出生前】…**内的要因** (遺伝子異常、染色体異常、**脳機能の障害**、多因子性疾患)
…**外的要因** (母体の代謝異常、感染症、薬物など)
- 【周産期】…**出産トラブル** (頭蓋内出血、**脳の酸素不足**など)
…**未熟児** (呼吸や循環器の不完全な働き)
- 【出生後】…(感染症による**脳炎**、頭部の外傷、循環的原因など)

6

3. 知的障害とは

(3) 知的障害を伴う可能性のある 主な脳の障害

(* 知的障害を全く伴わない場合もある)

- ◇ **てんかん**…**神経細胞の過剰な放電**により**発作**を繰り返す慢性的な脳の病気
難治性のてんかんは、知的障害を伴いやすい
- ◇ **脳性マヒ**…出生前後に受けた**脳への損傷が原因**で**運動にマヒ**の障害が起こる
損傷の箇所により異なる

7

* 発達障害 *

発達障害者支援法 (平成17年度施行)

「**脳機能の障害**であって、その障害が**通常低年齢に発祥**するもののうち・・・」

WHOによる国際疾病分類 ICD

(International Classification of Diseases)では

- ・ 会話および言語の特異的発達障害 (**言語障害**)
- ・ 学力の特異的発達障害 (**学習障害**) = LD
- ・ 運動機能の特異的発達障害 (発達性強調運動障害)
- ・ **広汎性発達障害** (自閉症、**アスペルガー症候群**など)
- ・ 多動性障害 (**注意欠陥多動性障害**)
- ・ その他 (選択緘黙、トゥレット症候群、吃音、分離不安、愛着障害など)

8

* 発達障害 *

- ・生まれつき脳機能に障害が存在していて、育て方や環境が原因ではない
- ・通常、低年齢に生じるもので、成人になってから生じることはないが、成人になってから気づくことはある
- ・発達障害の境界が明確ではなく、連続体（スペクトラム）であり、濃淡さ（グラデュエーション）があり、重複する場合も多く、はっきり分類するのは難しい
 - ⇒ 一般的には、知的障害を伴わない場合に「発達障害」と呼ぶことが多い（例、高機能自閉症）
 - ⇒ 気づきに違いがでる
- ・数が多く、通常学級に6.5%、実際はそれ以上
- ・外見上分かりにくいコミュニケーションや認知行動に特徴があるため、誤解されやすい。受け入れる側の対応や置かれる環境により、課題は大きく変化する。

9

3. 知的障害のある人の特性〔傾向〕

(*障害により似た傾向はあるが、一人ひとりの特徴は様々)

(1) 少し違うところ

- ・こだわりがある = 生活のしづらさ
例（位置、順番、形、名称、色、食べ物、衣類、etc…）
- ・感覚に対して繊細、鋭敏
例（音、光、香り、声、接触、水、etc…）
- ・物の見え方、聞こえ方に偏りがある
例（特定の物だけが目に飛び込んでくる、小さくても、特定の種類の音だけを耳で拾う）
- ・動きに特徴
例（ぴよんぴよん、うろうろ、舟こぎ、すばやい、直接的、ゆっくり、ぎこちない、常同行動、etc…）

10

3. 知的障害のある人の特性〔傾向〕

(2) あまり得意ではないこと

- ・抽象的な思考、概念形成が苦手
= 目の前のもの、具体物を基本に物事を認識する
- ・見通しをたてるのが苦手
- ・コミュニケーションが苦手（オウム返し、「はい」）
- ・変化に弱く、強い不安や緊張、抵抗を示す
= 初めての人、場面、突然の変更、想定外のことにとまどう
- ・失敗経験による自信喪失、不安、落ち込みが大きい
- ・せかされると混乱、委縮（固まる）
- ・自己コントロールがきかなくなるとパニックになることもある

11

3. 知的障害のある人の特性〔傾向〕

(3) 優れている面

- ・感受性が豊かで、優しい、周囲の気持ちに敏感
- ・まじめで、決められたこと、約束ごとに忠実
- ・感性が豊か
例（芸術、音楽、書などに優れた才能を発揮）
- ・経験の積み重ねにより学習できる
= コツコツと同じことの繰り返しが得意、根気強い
- ・経験を通しての記憶力に優れている
⇨ 辛い経験もいつまでも忘れない



乗り物が大好き！ 詳しい！
外出が大好き！

12

4. 交通機関での困りごと

(1) 目について気になること

(* ちょっと違って、誤解されやすい行動)

- ・ **ひとり言**が多い (ブツブツ何か言っている)
- ・ まれに大きな声を出す
- ・ **うろうろ動き回る** (行ったり来たり)
- ・ **ぴよんぴよん**跳ねる
- ・ 気になるものをじっと見ている
- ・ 体を大きく (左右、前後に) **揺らす**
- ・ 座り込む
- ・ 広告、チラシなどをいっぱい持っている
- ・ ホームや踏切で何時間でも電車を見ている

13

4. 交通機関での困りごと

(2) 嫌がられる (迷惑な) 行為

(* こだわりや、他のお客様の存在に意識がいかない行為)

- ・ 列に順番に**並んで**いられない人もいる
- ・ 並んでいる人を**無視**して乗り込もうとする
- ・ **決まった席**に座りたがる (お客様がいても)
- ・ こだわった所 (人) を**じっと見続ける** ⇒ **変質者?**
(人の顔、めがね、髪の毛、うなじ、足……など)
- ・ こだわった所を**触る** ⇒ **痴漢?**
(髪の毛、スカート、ストッキング……など)
- ・ **匂いをかぐ** (女の人の髪の毛など) ⇒ **痴漢?**
- ・ 人の動きに反応し、**反射的に手足**が出てしまう
- ・ 乗り物についての質問が止まらなくなる

14

4. 交通機関での困りごと

(3) 本人が困ること

(* 困っていることが伝わりにくい状況)

- ・ バスや電車に**乗り間違える** ⇒ **戻り方がわからない**
 - 同じホーム、バス停に来た、行き先の違うもの
 - 急行、快速などでの乗り越し
- ・ **ダイヤの乱れ、遅延**など
 - **アナウンスの意味を理解できない**
 - **乗り換えがうまくつながらず混乱**
 - 遅刻することが許せず、不安定になる
 - トイレなどがまんできなくなる
- ・ **困った時に、自分から誰かに聞けない、相談できない**

15

4. 交通機関での困りごと

- ・ 保護者、支援者とはぐれたとき
⇒ **困っているサインを出せず**、そのままにいる
- ・ **うっかり乗り越して**しまったとき
⇒ 降りるべき駅、停留所を**伝えられない**
(聞き取れる、風景や順番で理解できる)
⇒ 乗車駅や始発に**一端戻って乗り直す**
- ・ **人に声をかけられても**対応できず、**過度に緊張**する
- ・ 緊急の場合でも、携帯電話をかけることをしない
(家族なら相談できても、電話はかけてはいけない)
- ・ 自分で決めているナンバーのバスが来るまで、いつまでも乗らずに待ち続ける など

16

5. 知的障害者への対応(お願い)

(1) 配慮していただきたいこと

- ・療育手帳、ヘルプマーク、ヘルプカード、などを付けていたり、提示した場合
 - ⇒ 配慮を必要とする人であることを自ら示している
 - ⇒ 連絡先、行き先、対応上のヒントなどの情報
 - * 対応に困るときは、まず連絡を！
- ・怒ったりどなったりせず、優しく穏やかに
 - ⇒ 不安感が和らぎ、興奮が落ち着きやすい
- ・焦らせないで待つ姿勢
- ・停車駅のアナウンスなどは余裕をもって早めに
- ・車内アナウンスでは具体的に
例(「もうしばらく…」→「あと5分ほど…」)

17

5. 知的障害者への対応(お願い)

(2) 話しかけるときのポイント

- ・ゆっくり、簡潔に、短いセンテンスで
(一度にたくさんのことは理解できない)
- ・具体的に、わかりやすい言葉で
- ・肯定的な言葉で(どう行動すればよいかを伝える)
例(じゃま → 一端降りる、うるさい → 話をしない
座らない → ここに立つ、やめて → 手を離す)
- ・感情的にならず、穏やかに、静かに、毅然として
- ・大声で話さない、どならない
- ・年齢にふさわしい対応を
(見下したような対応、幼児言葉は傷つく)
- ・オウム返しや「はい！」が、理解できている返事とは限らない、要注意

18

5. 知的障害者への対応(お願い)

(3) 対応していただくときの基本的な考え方

- * 同一一人の人として尊重してください
「安心して社会生活を送りたい！！」



ルールを守るのは社会生活の基本

- ・ルールを守れるような働きかけ
- ・他のお客様にも気持ちよく受け容れていただける
対応

配慮と黙認は違う

- * 困りごとは何なのか…本人に寄り添ってください

19

* 交通機関の皆様へのお願い *

～当事者・家族・支援者の声から(1)～

- ・大きな駅、主な公共施設、競技場、病院などに、広くなくていいので、障害者と支援者(異性でも)と一緒に入れる支援用(介護用)トイレを作ってください。
- ・同じバス停で何系統かのバスが来る場合や同じホームで違う列車が来る場合など、分かりやすい所に色分け表示など、工夫をしてください。
(文字や言葉の理解ができなくても、色の識別ができる人は多いです。)
- ・次の停車駅のアナウンスなど、早めにお知らせください。
(心の準備に時間のかかる人もいます。)
- ・交通機関の種類や会社により、運賃の障害者割引率が異なり、とても分かりにくいです。地域、会社を超えて統一してください。

20

* 交通機関の皆様へのお願い *

～当事者・家族・支援者の声から(2)～

- ・ バス停のアナウンスに、特別支援学校や障害者施設の名前も加えてください。理解啓発にもつながります。
(既に実施されている地域もあります。)
- ・ 転落防止のため、駅のホームドアを、できるだけ早く全駅で実施してください。
- ・ 社員の方の研修に、是非、特別支援学校や障害者施設の見学を取り入れてください。
- ・ 当事者でなければわからない利用者の声を少しでも反映させるためにも障害者の雇用を増やし、現場のモニタリングなどに活かしてください。

「どうぞよろしくお願いいたします。」

21

6. まとめ ～地域で生きる～

共生社会 … 障害があってもなくても分け隔てなく、互いを尊重し、誰もが安心して暮らせる豊かな社会

出かけることの喜び ← 普通の地域生活

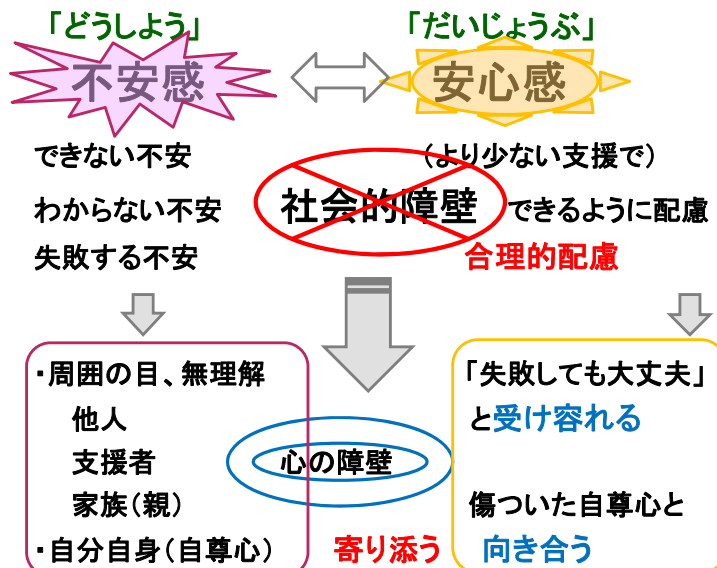
- ・ 学校に通える ・ 遊べる
- ・ 仕事ができる ・ 人と会える
- ・ 余暇を楽しんで過ごせる
- ・ おいしい食事ができる
- ・ 買い物ができる etc...

安心感 → 経験 → 自信 → 地域生活の広がり

交通は社会を広げるための架け橋

22

6. まとめ ～地域で生きる～



23

6. まとめ ～地域で生きる～

* どんなに重度の障害者にも「意思」がある

意思決定支援 **自由** と **責任**

* どんなに重度の障害者も「自立」できる
環境・配慮・支援・受容 ⇒ **社会生活**
人との関わりの中でこそ豊かに生きられる

社会の一員としての**尊厳**をもって
価値ある一人の人として生きる

人と人との架け橋に

24